



学校だより

(2月号)平成30年1月31日発行

<http://shibiraki-e.saitama-city.ed.jp/>

【学校の教育目標】

- ◎ 夢 (ゆめ) にむかって ともに学びあう学校
 - ・進んで勉強する子
 - ・自分からあいさつのできる子
 - ・仲よくたすけあう子
 - ・じょうぶな子

《今月の生活目標》外で元気いっぱい運動しよう



大雪から見えたこと

校長 清水 肇

1月22日の大雪は、近年に稀にみるものでした。さらにその後の最強寒波の影響で、現在も運動場には多くの雪が残っています。当分の間、使用できないものと思います。体育の授業は体育館で行ったり、他の授業に振り替えたりしています。また、休み時間も外遊びができず、室内や図書室等で過ごしています。加えて、6年2組の女子が出場予定のサッカー中央大会も異例の中止となりました。このような状況でも、新開小の子ども達は、落ち着いて静かに過ごしていることは、たいへん素晴らしいことです。



雪遊び楽しかったけど・・・

さて、平成29年12月に文部科学省より、「学校における働き方改革」に関する中間まとめが出されました。その中に、学校が現在担っている業務のうち学校以外のものが担う方が適切なものとして、以下のものが示されました。

- ① 登下校対応 ②放課後や夜間の見回り ③学校徴収金 (給食費など) ④地域ボランティアとの調整 (学校ごとに少し事情は異なりますが・・・)

このことに関連して・・・。大雪の翌日23日に私が学校についてみると、多くの地域・保護者の皆様が通学路の雪かきをしていました。子ども達が安全に、少しでも歩きやすいように、という皆様の温かい思いが伝わってきました。新開小の職員も朝早くから、学校敷地内外の子ども達の動線を雪かきしました。その後、数日間にわたり子ども達と一緒に歩いて登校を見守ってくださる保護者の方々を見かけました。おかげさまで、登下校において、大きなけがは起きていません。

普段から、地域・保護者の皆様に登下校対応を担っていただき、感謝していますが、今回の大雪での出来事から、その思いを強くしました。新開小では、文部科学省がいう前から、「学校における働き方改革」の一部をすでに実行していることを確認しました。



1月17日 (水) に海外日本語教師 (海外で日本語を教える外国人) 長期研修小学校訪問として、14名の方がいらっしゃいました。母国紹介では、場所や気候、代表的な食べ物などを教えていただき、外国の文化に直接触れるよい機会となりました。